

## 岩手県医師会との学術協力の推進に関する協定の締結について

平成 28 年 1 月 20 日、岩手県医師会館において、一般社団法人岩手県医師会と一般社団法人岩手県獣医師会は、「学術協力の推進に関する協定」を締結しました。

近年、新興・再興感染症を巡る世界的な状況は、国際的にエボラ出血熱や狂犬病や高病原性インフルエンザをはじめ、多くの人と動物の共通感染症が越境性に流行しており、これらを防ぐとともに人・動物・環境の健康を維持して行くには、どのひとつの健康も欠かすことができないという「人と動物の健康は一つ“One Health”」の理念のもとで、医師と獣医師の連携強化が不可欠であり、それぞれの健康を担う関係者が緊密な協力関係を構築することにより、これら三者の健康を維持し、その推進を図ることとしています。

本協定の意義は、医師会と獣医師会は、それぞれ医療と獣医療を専門職域とする医師と獣医師によって構成される公益団体であり、人と動物の健康の増進を介して、国民の生活向上に貢献する使命を担っており、特に今日、越境性感染症の拡大防止や人と動物の共通感染症の流行制御、食品の安全性確保、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することにあります。

このような連携に係る協定の締結は、平成 25 年 11 月 20 日に公益社団法人日本医師会と公益社団法人日本獣医師会との間で行われ、その後、平成 27 年 12 月末現在、各都道府県・政令市において 29 の地域で医師会と獣医師会との間で協定が締結され、協力体制が築かれています。この度、本県において両会の学術連携強化に向けて協定締結が行われたことは、人獣共通感染症を制圧するための極めて重要かつ有意義な第 1 歩であります。

調印式には、岩手県医師会から石川育成会長、岩動 孝副会長、小原紀彰副会長及び滝田研司常任理事が出席され、本会からは多田洋悦会長、佐々木一弥副会長及び細川隆常務理事が出席しました。

今後の取組み課題としては、県当局の指導の下に、医療及び獣医療の発展に関する学術情報の共有、地域レベルでの医師及び獣医師の交流の促進等を通じて医師会との学術協力に関する連携をより一層図り、一般市民の皆様への人と動物の共通感染症並びに食の安全対策等に関する正確な情報の周知徹底することを通して我が国と世界における One Health の推進を図ることを目的に活動を推進して参ります。

なお、来る平成 28 年 11 月 10 日(木)～11 日(金)の 2 日間、『第 2 回世界獣医師会(WVA)-世界医師会(WMA)“One Health”に関する国際会議』が、福岡県北九州市リーガロイヤルホテル小倉において開催されますので、多くの会員の先生方のご出席をお願いいたします。

